

観光案内施設について

2024年2月7日
八雲町政策推進課
新幹線・公共交通係

1. 観光案内施設の配置検討

- 前回の推進会議で説明したとおり、町としては、高架下を活用する場合はJRへ賃料を払う必要が生じることから、高架下以外の場所に観光案内施設を配置する方針で検討を進めている。
- 新八雲（仮称）駅周辺は、既存市街地から遠隔地という立地条件もあり、稼働率や効率性を考慮すると、有人の観光案内機能は費用対効果を見込むことが難しい。このため、開業後の利用状況を踏まえた効率的かつ効果的な観光案内機能の発揮に向けた検討が課題となる。
- 上記の点を踏まえ、観光案内施設の機能（案）を以下に示す。

導入機能(案)		概要	メリット	デメリット
観光情報発信機能	広域観光案内マップの設置 (事例 1 参照)	<ul style="list-style-type: none"> • 壁面等を活用して八雲町及び広域圏の観光マップを掲示。 • 観光パンフレット(紙媒体)やQRコードも併せて設置。 	<ul style="list-style-type: none"> • 大画面のマップにより、駅利用者に広く認知してもらえる。 • 幅広い年齢層の方が、観光情報を手軽かつ容易に入手できる。 • 維持費がほぼ不要。 	<ul style="list-style-type: none"> • 最新情報の提供のためには、観光マップの更新やパンフレットの差し替えが必要。 • 利用客のQ & A対応など双方向のコミュニケーションができない。
	電子案内板の設置 (事例 2 参照)	<ul style="list-style-type: none"> • モニターやタブレットを利用した観光情報提供。 • リモートで観光案内を行うシステムの導入も検討。 	<ul style="list-style-type: none"> • 観光マップでは対応できないより深く詳細な情報を提供可能。 • 最新情報の更新が容易。 • リモートでの観光案内システムを導入することで双方向のコミュニケーションや多言語対応なども対応可能になる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 機材のメンテナンス費用が発生する。 • 盗難防止など安全管理上のリスクがある。 • 技術革新により、導入したシステムがすぐに陳腐化してしまうリスクが大。(※JR函館駅前の情報提供システムの事例)
物販機能	無人売店または自動販売機の設置 (事例 3 参照)	<ul style="list-style-type: none"> • 需要上の問題があり、有人での売店設置が難しいため、セルフレジによる小規模な無人販売店や自動販売機を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人件費を抑えつつ、駅利用者の利便性向上を図ることができる。 • テナント収入を得ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 経費を抑えるために、取り扱う商品やサービスが制限される。 • 定期的な商品補充や各種メンテナンスを行う事業者を確保する必要がある。

参考事例 1 : 広域観光案内マップの設置



改札前に地図とパンフレットを配置（北海道新幹線 木古内駅）



函館エリアマップとパンフレットを配置（函館空港）



地図とおすすめ情報（QRコード付きミニパンフレット）を配置（函館空港 観光案内所）



広域観光マップとオリジナル観光ガイドブックの作成（TOURIST INFORMATION おおいなび）

（出典：静岡県島田市役所HP）

参考事例 2 : 電子案内板の設置



リモート接客システムを配置（大阪府和泉市の無人観光案内所）



駅併設の地域交流センター内に電子案内版を配置（JR洞爺駅）



地域の特色を全面に出した観光案内の空間づくり
（JR佐川駅内の無人観光案内）

参考事例 3 : 無人売店または自動販売機の設置



(出典: 日本経済新聞)

■ システムの概要

店内で商品を選び、セルフレジにて客が自ら商品バーコードをスキャンし、決済を行うシステム。

※レジにスタッフは配置されないが、品出しや商品案内のためのスタッフが店内にいる場合がある。

■ 取扱商品

飲料・菓子・土産・雑貨など約 300 種

※以下のサービスは扱わない

- ・年齢確認の必要なたばこや酒類
- ・搬入に人手が必要な新聞・雑誌、おにぎりなど
- ・収納代行・チケット等のサービス全般



(出典: 日本経済新聞)

セルフレジによる決済の様子

(出典: JR東日本、日本経済新聞 (2019年11月28日))

セルフレジによるキャッシュレス・無人店舗 (新幹線盛岡駅)



名産品を販売する自販機



秋田犬のぬいぐるみ (秋田県)



赤べこ (福島県)



明太鮭ほぐし (福岡県)



くまモン醤油 (熊本県)

(出典: BIG WING、エキサイトニュース)

各地の名産品やお土産を取り扱う自動販売機 (羽田空港)